

河川の連携・地域をつなぐ明日への水 思川開発

# 思川だより

独立行政法人水資源機構 思川開発建設所



思川開発事業の関係地方公共団体からなる検討の場（第3回幹事会）が開催されました

去る6月29日（金）に、「思川開発事業の関係地方公共団体からなる検討の場（第3回幹事会）」がさいたま市のさいたま新都心合同庁舎で開催されました。

幹事会では水資源機構から利水参画者の必要な開発量の確認結果（案）などについて説明し、関係地方公共団体から貴重なご意見をいただきました。

また、第2回の幹事会から1年ぶりの開催であったことから、検証のスピードアップを図っていただきたいという意見もいただきました。

今後も、引き続き「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」に基づいて、予断を持たずに検証を進め、できるだけ早く検討の結果が得られるように努力して参りますので、ご理解のほどお願いいたします。

資料等については、水資源機構のホームページで閲覧できます。

<http://www.water.go.jp/honsya/honsya/verification/index.html>



## 環境保全の取組について

### ◎ 今年もオオタカの繁殖を確認

思川開発事業では、工事期間中における動植物の生息や生育環境保全のために各種の対策を行っています。例えば、思川開発事業用地周辺に生息する猛禽類（オオタカ）に対しては、①繁殖期である1月～7月には営巣中心域（巣を中心に概ね300m～400m程度）への立入禁止措置の実施、②採食中心域（巣を中心に概ね1000m～1500m程度）では通年にわたり騒音・震動等における環境保全に配慮した工事の



オオタカの雛

実施、③日没～翌朝までの夜間工事を極力避ける等の対策を行いながら工事を実施しています。

思川開発事業では、毎年継続してこのようなオオタカに対する保全対策を実施しており、付替県道工事を実施中の今年も、昨年に引き続きオオタカの繁殖が確認されました。今年6月のオオタカのモニタリング調査では、2つがいで2羽から3羽の雛が確認され、もう1つがいで雛の孵化が確認されました。雛たちは順調に生育しており、巣立ったものと思われます。

また、1つがいのクマタカの雛が確認されています。

### ◎ 所久保環境保全地の現状

所久保環境保全地は、工事等により改変を受けた動植物の生息・生育環境の創出を目的として、平成23年度に貯水池上流部に設置された人工の湿地（池）です。この保全地は、元は杉林（それ以前は田んぼ）だった場所に上池と下池を作り、隣接する沢から水を引き込んでおり、水深は上池が0.9m程度、下池が0.3m程度です。湿地（池）の管理についても、なるべく人の手は加えず自然の成り行きに任せて、自然が再生するのを見守っていくこととしています。

今の池の状況ですが、池周りの植生も徐々にではありますが再生しつつあり、春先に生み付けられたヤマアカガエルの卵が孵化して、沢山のオタマジャクシが元気に泳いでいます。中には手足が生えたタオタマジャクシや尻尾の残るカエルも見られ、水生昆虫も確認されています。

また、池の周辺には鹿やイノシシの足跡も見られます。

最近ではトンボも数多く飛来していることから、来年以降はさらに多くの生き物たちが生息するのではないかと思います。

思川開発建設所では、今後も動植物の生育や環境保全のための各種対策を行いながら、環境に優しい工事を進めて参ります。



## 小倉川漁業協同組合と黒川漁業協同組合の釣り情報について

思川開発事業に関係する、小倉川漁業協同組合（鹿沼市及び栃木市西方町にまたがる思川、大芦川、南摩川及び栗野川等が漁場です）と黒川漁業協同組合（鹿沼市、日光市及び壬生町にまたがる黒川及び行川等が漁場です）の今年度の釣り情報についてお知らせします。

栃木県では、県産の農林水産物について放射性物質のモニタリング検査を行い、安全性を確認しています。両漁協管内のアユについても数回にわたる検査によって安全性が確認され、小倉川漁協では、6月10日（日）に、黒川漁協では、6月17日（日）に予定どおり、アユ漁が解禁されました。

今年、解禁前の台風等による出水及びそれに伴う河川工事の影響が心配されましたが、解禁日には朝早くから多くの釣りファンがそれぞれ自分のポイントで釣りを楽しんでおり、例年どおりの賑わいを見せていました。

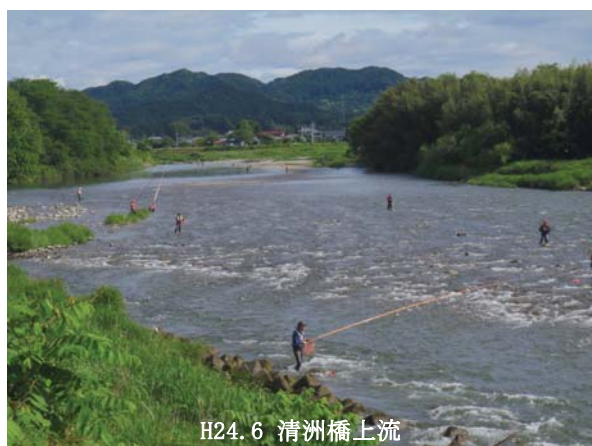
小倉川漁業協同組合管内では、大光寺堰（美田東部頭首工）の魚道改築により、引田地区（大芦川）や粕尾地区（思川）まで天然遡上のアユが見られ、出水からの回復に伴い、今後ますます楽しみな状況です。

また、黒川漁業協同組合管内では、板荷地区や市街地（平成橋下流の鹿沼市）などで大物を釣り上げる釣り人の姿が見受けられました。黒川は、例年、市街地でも尺アユが釣れる全国でも類のない河川として有名で、今後、更なる大物が期待されます。

なお、思川開発建設所では、これまでも工事による環境への影響を極力軽減するために様々な環境保全対策に取り組んできました。

今般、南摩川において、台風4号に伴う災害復旧工事を実施した際にも、南摩川や思川などへの土砂流出による濁水の発生をできるだけ軽減するよう濁水対策を行っています。

両漁業協同組合管内の清流で育つ香り豊かなアユ（まさしく香魚）を求めて皆様も釣りを楽しんでみてはいかがでしょうか。



## 工事の実施状況

### 1 付替県道1号トンネルが6月29日に完成

県道上久我都賀栃木線の付替県道1号トンネル工事は、全長約6.4kmの付替県道のうち約1.0km（内トンネル区間942m）を施工したもので、平成22年7月に上流側笹之越路から掘削を開始し、平成23年8月に貫通しました。その後、トンネル覆工（内面コンクリート）、トンネル内のコンクリート舗装及びトンネル工事以外の道路部の工事を施工し、完成しました。

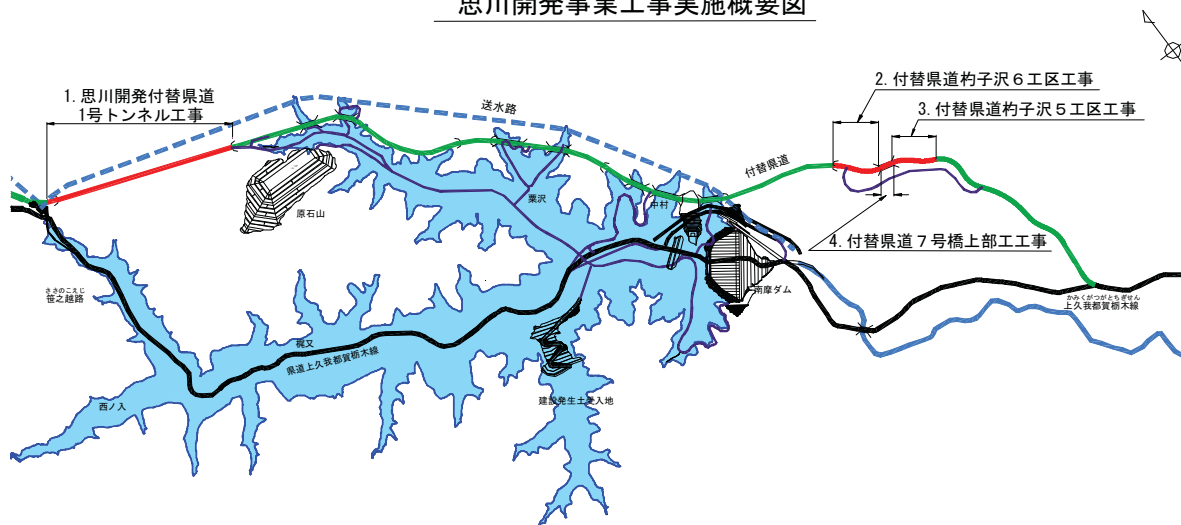
本工事の完成により、付替県道は既に完成している区間と合わせ63%の進捗となりました。

工事期間中ご迷惑をおかけしたと思いますが、今後も公道通行時のマナーなど、機構職員をはじめ、受注者および作業員まで周知できるよう指導を行っていきたいと考えていますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

## 2 付替県道7号橋上部工工事を7月20日に契約

付替県道7号橋は、現在施工中の付替県道杓子沢5工区と6工区を結ぶ橋長49mの鋼橋で、工期は平成25年8月までです。

### 思川開発事業工事实施概要図



### 人事異動

5月1日付け 転入 工事課 高橋 隆士 (利根川下流総合管理所)

### 編集後記

今年の梅雨も明けました。  
梅雨が明ければ、青い空と照りつける日差しの本格的な夏がやってきます。  
熱中症が話題に上ることも多くなっていますので、皆様には十分に注意をして過ごしていただきたいと思います。

編集・発行所



独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

〒322-0305 栃木県鹿沼市口栗野 839-2

Tel (0289)85-1110 Fax (0289)85-1211

<http://www.water.go.jp/kanto/omoigawa/index.html>